

2022年度 つむぎ 八山田ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
体制設備・環境について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するに当たり安全な環境であるか。	4.7	来所される全ての方に清潔で安心して過ごしてもらえるよう整理整頓がされ、安全で清潔な環境作りを徹底してまいります。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.9	専門性を上げるべく、社内で研修をしていきスキルアップを目指してまいります。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.3	引き続き適切な時間配分と休息を促し、業務管理をしてまいります。
	Q5	ルーム内の環境や支援員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		急な欠勤などが発生した場合でも、スタッフ全員でフォローできる体制づくりを心掛けております。
	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	4.0	園会議でスタッフの意見を聞くことや、スタッフと面談を行いながら設定した目標の進捗状況を確認しつつ、計画の見直しやアドバイスを適宜行っています。
業務改善について	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.4	利用者アンケートから分析し、改善策をスタッフで話し合いより良い支援に努めてまいります。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	4.6	事業所内で掲示し、保護者様に案内をしております。また法人ホームページにも公開をし、どなたでも閲覧できるようにしてまいります。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4.0	評価結果から、改善に向けてスタッフ間で話し合い改善してまいります。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	4.4	園独自の勉強会だけでなく、法人のスキル講座や行政からご紹介頂いている講座等にも積極的に参加できるよう配慮しております。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		意見の出しやすい環境づくりを心掛け、必要な場合には都度業務改善をしてまいります。
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.9	保護者様からの聞き取り、子どもの行動観察の時間を設け、その結果をもとに児童発達支援管理責任者とスタッフで会議を行い、個別支援計画を提示させて頂いております。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.3	引き続きお子さまと保護者様のニーズを考え、多面的に課題を捉え個別支援計画に反映するように努めてまいります。
	Q14	グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.1	引き続き支援目標に沿って活動やプログラムを考え支援に努めてまいります。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.1	日々の生活から、TRIAL&ERROR（試行錯誤）を繰り返し、お子さまにとって必要な手立てを考えてまいります。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.3	保育園と連携し、お子さまを理解し、支援内容や支援方針を確認していき支援を行ってまいります。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	3.7	スタッフ同士が支援の振り返りをしていき、次回の支援に必要な手立てを考えられるよう共有できる場を設けてまいります。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.0	支援内容は毎回必ず記録を残しております。記録の内容についても児童発達管理責任者から適宜指導を受け、スタッフ全体でより良い記録、検証、改善に繋げております。
	Q19	定期的なモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていますか。	4.1	引き続き、6カ月に1回モニタリングをし個別支援計画の更新、見直しをしてまいります。また、必要に応じて6カ月より前に個別支援計画を作成してまいります。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。（自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など）	3.9	ガイドラインの総則の基本活動を法人の日課やプログラムとすり合わせを行い支援提供を行ってまいります。
	Q21	適切な支援の提供について、ご意見をお聞かせください。		スタッフ同士で子どもの最善の利益を考え、情報を共有していきより良い支援に努めてまいります。
	保護者と関係機関について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3.9
Q23		所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に努めているか。	3.9	所属している幼稚園、保育園とお電話での情報共有や、書面でのやり取りも行ってまいります。
Q24		児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に努めているか。	3.9	児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有していき支援の一貫性につとめてまいります。
Q25		児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.9	就学支援シートを活用しながら、お子さまの発達について共有させて頂いております。

保護者との関係機関について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.7	他機関との連携を密にし、一貫した支援になるように努めてまいります。また、研修等の機会を増やし、支援の質の向上に努めてまいります。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.7	地域に根付いた事業所となるよう連携を密にし、一貫した支援になるように努めてまいります。また、地域と繋がる機会を設けてまいります。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	4.4	インクルーシブな社会を目指し、引き続き保育園と連携しながら支援してまいります。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	4.1	引き続き地域の方と交流し、企画した行事を地域住民と共に実行し開かれた事業所を目指します。
	Q30	保護者の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	4.3	事業所内相談支援を活用し相談の時間を設けたり、必要に応じて検査を踏まえたフィードバックを活用するなど、子どもの成長について保護者様としっかりと話し合う時間を設けております。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		今後も関係機関との連携し、支援に活かしていきたいと思っております。
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.4	契約時には丁寧に説明させて頂いております。ご不明な点があればいつでもご相談ください。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.7	個人の助言ではなく、事業所内で考え必要な支援や助言に努めてまいります。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	3.3	保護者様が集まれる機会を設け、保護者様同士で繋がれるように努めてまいります。
	Q35	子どもや保護者からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.3	引き続き迅速な対応をしております。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者に対して情報を発信できているか。	4.6	毎月ブログやInstagramなどSNSを活用して活動の様子を発信しております。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.4	お子さまや保護者様に寄り添った対応、支援をしております。
	Q38	個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.6	個人情報がかかる資料は全て鍵のかかる書庫で管理し、廃棄する際も厳重に管理しております。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.6	毎週開かれるフロア会議や共有ツールを用い、情報の共有に努めてまいります。
	Q40	保護者や子どもへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		提供できる支援の充実だけでなく、普段から保護者様とのコミュニケーションを自然に行えるよう環境を用意していきたいと思っております。
非常時の対応について	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.4	法人のマニュアルに沿った対応を迅速に行います。また定期的にスタッフ同士読み合わせを行いマニュアルの徹底をしております。
	Q42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.6	避難訓練を毎月実施していき、緊急時に備えてまいります。
	Q43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	4.4	会議の中で定期的に虐待に関しての研修を行い、虐待防止に努めてまいります。
	Q44	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.3	毎月ヒヤリハットの集計、情報収集から分析をしていき、事故に繋がらないよう会議の中で共有してまいります。
	Q45	非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		非常時にの訓練や未然に防ぐ対応について、引き続きスタッフ全体で危機意識を持って取り組んでまいります。
満足度について	Q46	子どもはつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.4	引き続き、お子さまが「やってみたい」「楽しい」と思える場になるよう努めてまいります。
	Q47	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	4.6	生活の中で多様性を認め合い、一人ひとりの成長を支えてまいります。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		お忙しい中、貴重なご意見ありがとうございました。今後もつむぎの支援をより良いものにできるよう、ご意見を頂戴できると幸いです。

アンケート実施期間：2022年8月12日～9月5日
全回答数：7

つむぎ 八山田ルーム
施設長 阿久津 祐太